

花と緑と笑顔にあふれる街づくり ～小平グリーンロード～

1 社会資本の概要

小平グリーンロードとは小平市内の玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道、小金井公園を結ぶ緑の回廊で、一周すると約21kmの起伏の少ない散歩道です。この水と緑の散歩道「小平グリーンロード」に市内外の多くの人々が親しんでいます。小平グリーンロード沿いには駅が点在し、どの駅から始めても、どの駅



「狭山・境緑道花街道ボランティア部会」
年に2回、街道沿いの花壇の一斉植替え

で終わってもすばらしい自然を楽しめ、ゆっくり散歩できるのも特徴です。平成16年には「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選ばれています。これは一般社団法人日本ウォーキング協会が国土交通省などの後援を受け、選定したウォーキングコースで、多摩地域で選定された8コースのうちのひとつです。



「齋藤素巖グリーンロード美術館部会」春と秋に全ブロンズ像を洗浄

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

市民ボランティアが中心となり、「玉川上水自生野草を守り育てる会」、「あじさい公園あじさいボランティア部会」、「狭山・境緑道花街道部会」、「齋藤素巖グリーンロード美術館部会」、「小平グリーンロードイベント部会」の5つの部会を構成しています。具体的には、小平グリーンロード沿いの花や緑を管理・保護する活動や、同じく緑道沿いに設置されている齋藤素巖ブロンズ像のメンテナンス、市内イベントでの小平グリーンロードのPR等の活動をおこなっています。活動日は各部会により異なり、

各部会員が年間予定表を作成し月に3～5日程活動しています。また、花まつりや灯りまつり、ガーデニングコンテスト、収穫祭等、市内で行われるイベントを主催したり、花と緑にあふれる街づくりを推進するオープンガーデン事業をおこなっています。会員自らが企画・参加することによって、より地域を知り、地元へ愛着をもつことができる活動が多く、これにより、会員（市民）間のつながりが強まり、さらに活動が活発化しています。



「あじさいボランティア部会」
あじさい祭りでの、あじさい撮影教室



「玉川上水自生野草を育てる会」
自生野草観察会を実施



「小平グリーンロードイベント部会」
収穫祭など、市内のイベントに出店し、
グリーンロードのPR等を実施



東京都小平市 小平市グリーンロード推進協議会

3 活動の成果や波及効果等

平成10年の設立以降、小平市グリーンロード推進協議会は「小平グリーンロード」を小平市の観光資源に位置付け、約100名の会員が小平グリーンロードの繁栄とPR活動を行ってきました。市民アンケートでは、「小平市を訪れる人におすすめしたい小平市の見どころ」のうち「小平グリーンロード」が46%で一番に挙げられています。また、小平の伝統的な地口行灯を利用した「小平グリーンロード灯りまつり」も今年で10周年を迎え、来場者も4万人を超え、小平市内の一大イベントへ成長しました。このように市民が主体となり小平グリーンロードの保護、繁栄やイベントの運営に携わることで小平市の魅力を増大させ、市民自らが「住みやすい」、「誇りを持てる」と感じられる街へと成長させています。



「灯りまつり」
平成27年で10周年を迎えました。
市民の手づくりの灯ろうが出展されます

喜びの声



受賞者

小平市グリーンロード推進協議会
会長 後藤 亘

コメント

この度の受賞、大変光栄に存じます。
小平グリーンロードは、水と緑と花の豊かな散歩道として多くの市民から親しまれています。この資源を大切に守り育てて次世代に継承し、さらに魅力的な街づくりを目指して積極的に活動して参ります。そして、この受賞を機にさらに多くの皆様に訪れて頂きますよう、その魅力を広く発信して参りたいと思います。

活動内容

小平グリーンロード沿いの草花の保護・管理、内イベントの主催など

活動の経緯

平成10年4月 協議会設立
平成15年4月 あじさい部会発足
平成18年4月 齋藤素巖ブロンズ像設置
平成18年8月 灯りまつり開始 など

所在地

東京都小平市

活動主体及び連絡先

小平市グリーンロード推進協議会
(042-346-9581 小平市産業振興課)

対象となる社会資本

小平グリーンロード
(小平市を周遊する約21キロの散歩道)
※管理者：東京都（建設局、水道局）、小平市



手づくり郷土賞について

公開審査会について

講評

大賞部門

一般部門

資料集